



らぶく La・BOOK

7月号
No.49

山に親しむ!



7月24日「信州山の日」
8月11日 眠の郷「山の日」

今年から、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨として、国民の祝日「山の日」が行われることになりました。長野県独自の「信州山の日」は、昨年より実施されています。そこで、全館に「山のコーナー」を設置しています。

中央図書館では3日に、国際山岳プロガイド角谷道弘さんの講演会「世界の山を登って 登山の魅力と危険と安全について」を行いました。マッターホルンやキリマンジャロ、アコンカグア等の素晴らしさとともに、高山病や低体温症、熱中症への対策を教えてくださいました。そして「小さな失敗をたくさんして、山へ行くのがいい」とお聞きしました。特集コーナーには、「山岳信仰」「山の名著」「小説&エッセイ」「登山家」「動植物」「アウトドア」のジャンル別に資料を用意しました。「信州山の日 大人のための朗読会」(7月24日13:30~)も行います。



豊科図書館では、特集「山へ行こう!」を実施し、「山登り」「子どもの登山」「トレッキング」等の本を展示しています。さらに、「山岳コーナー」「田淵行男コーナー」を設けており、山の専門書も数多くそろえています。



明科図書館では、ひまわり講座「播隆上人と槍ヶ岳開山」を開催します。

「山の日」を機会に、多くの方が山に親しみ感謝することができたらと思います。

明科図書館ひまわり講座③地域の歴史を学ぶ
「播隆上人と槍ヶ岳開山」
講師：大町山岳博物館学芸員 関 悟志さん
期日：8月6日(土) 13:30~
会場：明科子どもと大人の交流学習施設ひまわり
人数：40名(中学生以上 要申込み)

中央図書館 奮闘! 調べもの日記(レファレンス)

あづみ 山本安曇について知りたい



萩原碌山と親交のあった鑄金家で、明治18年南安曇郡有明村に農家の四男として生まれました。本名は菊一。

東京美術学校鑄造科在学中に碌山と親しくなり、碌山の「宮内氏像」などを鑄造しました。碌山死後、絶作といわれる「女」を安曇がブロンズに鑄造し、第4回文部省美術展覧会に出品しました。この作品は現在、皇居に隣接した北の丸公園にある東京国立近代美術館に常設展示されています。

安曇は昭和20年、アメリカB29の東京空襲によって自宅防空壕で亡くなりました。その墓は碌山美術館のすぐ近くにあり、「天功院至徹玄門居士」と刻まれた五輪塔の墓碑が建立されています。

<関係資料>

- 『長野県歴史人物大事典』郷土出版社 1989年
- 『碌山芸術を支えた安曇』北野 進/著 出版・安曇野 2001年
- 『安曇と碌山』北野 進/著 出版・安曇野 1982年

私と図書館

(30代女性)

幼い時に母と一緒に通って以来、地元の図書館からは足が遠のいていました。甥が生まれたことをきっかけに、再び図書館へ通うことになりました。昼の間、孫をあずかることになった母に「孫に読んであげる本がないから借りてきて」と、せがまれたからです。

何十年ぶりに絵本の部屋へ入るのは恥ずかしい気もしましたが、「からのパンやさん」を見つけ「あ、この本知ってる。この本好きだった。懐かしい」と、久しぶりに友達に会ったような不思議な感覚になり、恥ずかしさも消えました。

そうして借りた本を甥に読んであげると、機嫌の悪い時にはなぜか機嫌が直ったり、反対にお気に入りの本を返す時には「持ってっちゃダメ!」と、さんざん泣かれたりしました。そんな甥の様子を見ると「絵本の力は大きいな」と感じています。

これからも甥の喜ぶ本と私の楽しみのために、図書館へ通い続けたいと思っています。



6月貸出ランキング

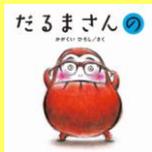
一般書

- 1 火花／又吉直樹
- 2 虚ろな十字架／東野圭吾
- 3 羊と鋼の森／宮下奈都
- 〃 64／横山秀夫
- 5 岳 8／石塚真一
- 〃 下町ロケット 2／池井戸潤
- 〃 人魚の眠る家／東野圭吾
- 〃 ラプラスの魔女／東野圭吾
- 〃 人生がとぎめく片づけの魔法／近藤真理恵
- 〃 フランス人は10着しか服を持たない 2／ジェニファー・L・スコット
- 〃 若殿とロマン／畠中 恵 他多数



児童書

- 1 だるまさんの／かがくいひろし
- 〃 バムとケロのさむいあさ／島田ゆか
- 3 かにこちゃん／きしだえりこ
- 〃 だるまさんと／かがくいひろし
- 〃 はらぺこあおむし／エリック・カール
- 6 くっついた／三浦太郎
- 〃 くれよんのくろくん／なかやみわ
- 〃 バムとケロのおかいもの／島田ゆか 他多数



AV資料

- 1 崖の上のポニョ／宮崎 駿監督
- 〃 進撃の巨人 前篇／荒木哲郎監督
- 3 学校の怪談／伊藤幸松 他監督
- 4 カーズ／ジョン・ラセター監督
- 〃 借りぐらしのアリエッティ／米林宏昌監督
- 〃 岳／片山 修監督 他多数



明科図書館から

本のソムリエ(職員) おすすめ本

一般書 『春秋の檻—獄医立花登手控え①—』

藤沢周平／講談社

表紙

新しい医学の勉強に燃え、医師をしている叔父を頼って田舎から江戸に出てきた立花登は、叔父を尻に敷いている叔母、母親に似て美貌だが驕慢な娘おちえにこき使われながら居候を続けている。叔父の代診や牢医者としての勤めの中で、様々な事件に巻き込まれつつ登は大人へと成長していく。スリルと痛快さを楽しみながら、登の成長とともに、しみじみと人生の哀歓と人の温もりを味わうことのできる傑作時代連作集。『春秋の檻』『風雪の檻』『愛憎の檻』『人間の檻』の4シリーズが楽しめます。

児童書 『わたしは樹木のお医者さん』

樹木医 石井 誠治／くもん出版

表紙

樹木医、という言葉をご存知でしょうか。人間と同じように、樹木も病気にかかることがあります。その樹木を診るお医者さんです。自宅の庭や、道路、公園、学校などに植えられている樹木。これらの木を定期的に見回り、危険な状態の木や、弱ってしまった木が元気になるように治療に取り組んでいる樹木医の活動に触れてみませんか。

心動かされた一言募集!!

テーマは「元気をもらったフレーズ」

☆応募期限 9月4日(日)まで【必着】

☆応募資格 安曇野市在住の人 または 安曇野市図書館に利用者登録のある人

『かっこよすぎて頭から離れない!』『このフレーズに心が動かされた……!』 そんな一文・名言に出会った経験はありませんか?

安曇野市図書館では、あなたが本を読んで“心動かされた”一言を募集します! 応募された中から抽選で、図書カード(500円分)をプレゼントします。詳しくは、広報「あづみの」231号をご覧ください。図書館カウンターへお尋ねください。



編集・発行・お問い合わせ



- 中央図書館 ☎84-0111
- 豊科図書館 ☎71-4022
- 三郷図書館 ☎76-3078
- 堀金図書館 ☎72-3601
- 明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※

法隆寺宮大工の口伝に「堂塔の木組みは寸法で組まず木の癖で組め」というのがあります。

木の質は育った環境によって決まり、木組みはその癖のある捻じれた木を生かすことだと思います。

それは、そのまま「人の環境の大切さや、その癖や欠点を長所として生かせ」の教えと同じだと思います。

